

第6は「参画と協働によるまちづくり」であります。

(協働によるまちづくり)

市民の皆様がまちづくり活動を行いやすい環境づくりや支援体制の整備はもとより、集落の活性化及び課題解決に向けた取り組みを進めていくため、平成26年度より「集落支援員」を配置したところであり、新年度におきましては、併せて「地域おこし協力隊員」も配置することとしております。

(定住対策の推進)

定住対策につきましては、「第二次定住促進ビジョン」に基づき、引き続き、定住促進事業を強力的に推進してまいります。とりわけ、定住促進策の大きな柱となっております「空き家バンク制度」につきましては、登録数や活用数の増加に向け、空き家改修助成制度の拡充や家財撤去助成制度の新設等を図り、UIターン者のさらなる増加を目指すとともに、積極的な情報発信に努めてまいります。

(効率的な行財政運営)

厳しい財政状況の中で、多様化する市民ニーズや行政課題に的確に対応できるよう、平成26年度に策定いたします「第3次大田市行財政改革推進大綱」、並びに「実施計画」に基づき、さらなる事務事業の改善に努めてまいります。

また、「大田市総合計画」は終期を2年後に控えており、次期計画の策定に平成27年度から2か年で取り組んでまいります。

さらには、平成26年度に策定いたします「公共施設白書」をもとに、今後の公共施設等のあり方についてその方向性を示す、「公共施設等総合管理計画」の策定を進めてまいります。

「どがなかな大田ふるさと寄附金促進事業」につきましては、昨年12月から、インターネットでの申し込み、クレジット決済の仕組みを導入し、寄附していただき

やすい環境を整えたところであります。市の自主財源の確保という観点はもとより、お礼の品としてお贈りする市の特産品のPR及び販売拡大につながることから、新年度においても取り組みを強化してまいります。